

2005年5月27日
株式会社 日立産機システム

トッランナー油入変圧器「Super トッランナー」シリーズを新発売 ケイ素鋼鉄心を使用した新型トッランナー変圧器をラインアップ

株式会社日立産機システム(取締役社長: 椎木清彦 / 以下日立産機)は鉄心にケイ素鋼鉄を採用してトッランナー方式(*1)の基準値を達成した油入変圧器「T」シリーズをモデルチェンジし、新型油入変圧器「Super トッランナー」シリーズを9月1日より発売いたします。「Super トッランナー」シリーズは現行標準油入変圧器(*2)に対し、コンパクト化(床面積比 20%低減、容積比 25%低減)と高効率化(全損失 40%低減、トッランナー基準値達成率 104%)を実現しました。

高圧受配電用変圧器は2003年4月に改正施行された「エネルギー使用の合理化に関する法律」(省エネ法)により、産業用電機機器としては初めてトッランナー方式の「特定機器」に指定されました。変圧器製造事業者は目標年度(油入変圧器:2006年度、モールド変圧器:2007年度)までに定められた基準値(2000年度比約30.3%の効率改善)を達成した製品を販売することを義務付けられております。また、この目標基準値を達成した変圧器(以下トッランナー変圧器)はグリーン購入法の特定調達品目に指定されております。2005年4月には新しいJIS規格(油入変圧器:JIS C 4304-2005)が制定され、トッランナー変圧器の普及拡大が進むものと思われます。さらに、目標年度以降にはトッランナー変圧器が標準変圧器と位置付けられ、省エネ特性以外の筐体寸法や質量、デリバリー等のユーザーニーズも顕著化してくると思われます。

日立産機は1997年に国内メーカーとして初めて民需向けアモルファス変圧器を発売して以来、他社に追随出来ない優れた省エネルギー効果を実現した変圧器を市場に投入し、省エネ変圧器市場をリードしてまいりました。現在、日立産機が発売している省エネルギー型変圧器はアモルファス変圧器、ケイ素鋼鉄変圧器でそれぞれ4シリーズづつを標準ラインナップし、お客様の変圧器の使用実態や使用環境に応じた選定提案などの受配電設備における省エネソリューションビジネスを展開しております。

このたび発売いたします「Super トッランナー」シリーズは、鉄心の巻線構造の最適設計化とコイル巻線技術向上により、省エネルギー効果と同時に筐体のコンパクト化を実現いたしました。キュービクル式高圧受電設備への収納などでのトッランナー変圧器の導入をより容易にいたしました。日立産機はトッランナー変圧器の標準化対応を進め、受配電設備における省エネソリューションビジネスをより強固なものいたします。国内トップシェアを維持し、2006年度国内シェア40%を目指します。

なお、本製品は5月31日から東京ビックサイトで開催される「2005 電設工業展」(主催: 社団法人日本電設工業協会)に参考出展いたします。

(*1)トッランナー方式:省エネルギー法で指定するもの(特定機器)の省エネルギー基準を、その機器で現在商品化されているうちで最も優れている製品の性能を基に設定し、目標年度を定めてエネルギー消費効率を高めていくように普及促進する方式。

(*2)現行標準品:JIS C 4304-1999 規格準拠品

「Super トッランナー」製品仕様

< 電圧 >

6kV 以下

< 容量 >

単相 10kVA ~ 500kVA

三相 20kVA ~ 2000kVA

本件の照会先

株式会社 日立産機システム 事業本部受配電・環境システム事業部 [担当:永井、林]

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地AKSビル

TEL (03)4345 - 6076(直通)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
